
大学教育学会ニュースレター

No.92 2013. 2. 1

大学教育学会 (Liberal and General Education Society of Japan)

事務局 : 桜美林大学淵野辺キャンパス内

〒252-0206 神奈川県相模原市中央区淵野辺 4-16-1

TEL/ FAX : (042)704-7014

郵便振替口座:00120-4-178891 大学教育学会

e-mail: ungakkai@gmail.com URL: <http://www.daigakukyoiku-gakkai.org/>

大学教育学会 第35回(2013年)案内

統一テーマ

「教育から学習への転換」

趣 旨

大学教育には、選抜効果や、学校歴のブランドによる効果ではなく、その実質が問われ、学習の成果が求められている。学習者中心主義と呼ばれるこの流れは、教育する側の論理に立ったカリキュラムや教育活動ではなく、学習者へ視点が転換することも意味している。

しかし、学習者中心主義は、今に始まったことではなく、J・デューイなど19世紀末の初等教育改革運動の中にすでに見られるものであるが、教育指導と学習者の自律性とのジレンマなど多くの論点をほらみ、未だに途上にあるとあってよい。

大学教育における学習者中心主義は、スローガンとしてはたやすいが、そのことが意味するものは、大学教育全体の構造的変化である。主として正課教育を対象にしていた活動が、課外活動や非正規教育を含むキャンパス全体に波及し、キャンパス空間全体の再構築、新たな学習資源概念であるラーニング・コモンズの出現等をもたらす。

さらに教育活動の主人公であった教員の役割が、学習活動の促進・支援者の比重を強め、TA、スチューデント・アドバイザー、教務関係職員、図書館職員、情報センター職員など教育関係職員の役割が大きくなり、学部・学科の縦割り構造に基づいて教員が担っていた機能が、キャンパス全体において再統合を必要とする。これらの課題は、スローガンほどには検討されていない。

第35回大会は、前大会のコンセプトを引き継ぎ、転換期の大学教育の課題の一つとして、「教育から学習へ」をテーマに、ディー・フィンク博士を招聘し、シンポジウムと合わせて議論する。

1. 開催日時および会場

期 日 2013年6月1日(土)、2日(日)

会 場 東北大学合同講義棟(川内北キャンパス)C棟及びマルチメディア教育研究棟
仙台市青葉区川内41

*仙台駅からバス東北大学川内キャンパス・萩ホール前下車〔15分〕、タクシー10分〔1,200円〕

2. 大会日程

プレセッション：5月31日（金）

12:30 12:40 13:00 15:00（予定）

受付	説明	自然科学総合実験見学と説明
----	----	---------------

第1日：6月1日（土）

8:30 9:00 9:30 12:00 13:00 13:50 14:10 14:20 15:40 15:50 18:10 18:30 20:00

受付	ラウンドテーブル	昼食	総会	↑	基調講演	公開シンポジウム	懇親会
	東北大学特設ワークショップ						

↑ オリエンテーション ↑ 開催校あいさつ

第2日：6月2日（日）

9:00 9:30 12:00 13:00 15:00 15:15 15:30 17:00

受付	自由研究発表 I	昼食	自由研究発表 II	↑	研究担当理事特設ワークショップ
----	----------	----	-----------	---	-----------------

↑ 次期開催校あいさつ・閉会

プレセッション 5月31日（金）

12:30～15:00 東北大学高等教育開発推進センター提供 自然科学総合実験授業見学と説明
学生実験棟集合（先着 20 名 大会校 HP にて事前申し込み 4 月 1 日～）

第 1 日目 6月1日（土）

8:30～ 受付
9:00～9:20 初めて参加する人のためのオリエンテーション
9:30～12:00 ラウンドテーブル
東北大学高等教育開発推進センター提供 特設ワークショップ（大会校 HP にて事前申し込み 4 月 1 日～）
(1) 「英語学習の革新—多読法の実際」(Ben Shearon & Daniel Joel Eichhorst)
(2) 「留学生への日本語指導—アカデミック・ライティングの実際」(佐藤勢紀子)
12:00～13:00 昼食
13:00～13:50 総会
13:50～14:10 休憩
14:10～14:20 開催校挨拶
14:20～15:40 基調講演 ディー・フィンク (Dee Fink) 博士 (高等教育コンサルタント)
15:40～15:50 休憩
15:50～18:10 公開シンポジウム
“教育から学習への転換を支えるもの—カリキュラム・空間・マネジメント—”
* 基調講演・シンポジウムは同時通訳
18:30～20:00 懇親会 (東北大学生協 川内の杜ダイニング)

第 2 日目 6月2日（日）

9:00～ 受付
9:30～12:00 自由研究発表 I
12:00～13:00 昼食

- 13:00～15:00 自由研究発表Ⅱ
 15:00～15:15 閉会行事・次期開催校挨拶
 15:30～17:00 研究担当理事特設ワークショップ
 “大学教育の実践研究をいかに進めるか”（山田礼子・羽田貴史）

関連行事

5月31日（金）

16:00～18:00 理事会

18:20～20:00 理事会懇親会・Fink氏歓迎会（東北大学生協・ブッシュクローバー）

3. 総会

議長 総会参加者の互選による

4. 基調講演

演題：“意義ある学習体験の創出—大学授業設計の統合的アプローチ”

講師：Dee Fink 博士（高等教育コンサルタント）

司会：土持ゲーリー法一（帝京大学教授）

概要：ディー・フィンク氏はオクラホマ大学教授開発プログラムセンターの設立に関わり、センター長として27年間勤務。その間、2004年から2005年にはアメリカの高等教育開発者の専門職団体であるPOD Networkの会長をつとめ、現在は高等教育コンサルタントとして14カ国の200を超える高等教育機関でセミナーやワークショップなどを開催されています。この講演では、著書のCreating Significant Learning Experiences: An Integrated Approach to Designing College Courses（「学習をつくる大学授業法」土持ゲーリー法一監訳 玉川大学出版部）をもとに、意義ある学習体験の創出方法についてお話して戴く予定です。

5. シンポジウム「教育から学習への転換を支えるもの—カリキュラム・空間・マネジメント—」

趣旨：近年、教育機関としての大学の役割を考える中で、従来の「いかに知識を提供するか」という教員の教育活動を主眼にした「教育パラダイム」から「いかに学生の主体的な学びを促進するか」という学生の学びを焦点とした「学習パラダイム」への転換が議論されています。多くの大学において、授業レベルでは問題解決型の授業やプロジェクト型授業など様々な授業方法が開発され、環境づくりとしてはラーニング・コモンズや学習管理システム（LMS）などが導入され、また活発な議論がされています。しかし、これらを大学全体の教育活動として全体的に捉えた上での議論は十分にされているとはいえません。

そこで、本シンポジウムではカリキュラム、学習環境、マネジメントの視点から教育から学習への転換を支えるものについて、具体的な議論を行います。

趣旨説明	羽田貴史（東北大学）
報告1	カリキュラムの観点から（松下佳代・京都大学）
報告2	学習環境の観点から（山内祐平・東京大学）
報告3	マネジメントの観点から（沖裕貴・立命館大学）
まとめ	羽田貴史（東北大学）

* Fink氏も参加し、同時通訳つき

司会：杉本和弘・羽田貴史（東北大学）

6. 「ラウンドテーブル」申し込み要領

趣旨：本学会は、多様な専門分野の方々が集まって大学教育に焦点をあててその充実を図ることを大きな目標の一つに掲げています。その一環として行う「ラウンドテーブル」は、会員による研究・実践活動の活性化を促すとともに、学会全体で共有できる研究課題を発掘し、複数の視点から議論を深めていくことを目的としています。

この趣旨に基づき、ラウンドテーブルの企画に当たっては、本学会個人会員が企画者、発表者（話題提供者・発題者）、司会者を務めることとし、特に企画者は複数の所属機関にわたる複数名で構成するようにご配慮ください（ただし、企画者が報告者や司会者を兼ねることは可能です）。

ラウンドテーブルの調整及び評価：ラウンドテーブル全体の調整及び評価は企画委員会が行います。

第一に、企画委員会において、企画者、発表者、司会者として会員資格を満たしているかを確認いたします。なお、同じ会員が複数の企画に、企画者、報告者、司会者として名を連ねることはできませんのでご注意ください。

第二に、企画委員会が、以下の項目を中心にテーマの適切性や重複状況を総合的に評価いたします。また、会場の都合を踏まえ、ラウンドテーブルの数を制限することがあります。

- (1) 1 テーブルの構成員（企画者・報告者・司会者）の数（最大10名まで）
- (2) 発表者の所属機関の多様性
- (3) 見込まれる参加者数
- (4) 成果の発表状況（論文、シンポジウムでの報告、出版等）

以上の評価結果は、申し込み年度の3月中旬までに企画者に通知いたします。

ただし、課題研究委員会が企画するラウンドテーブルについては、非会員であっても報告者（話題提供者・発題者）になることができます。

申込みおよび報告：ラウンドテーブルの申し込みについては、ニュースレター後掲「自由研究およびラウンドテーブルの申し込みについて」をご参照下さい。ラウンドテーブルの企画者には、事後、大学教育学会誌にご報告いただきます。

7. 「自由研究」申し込みについて

1) 発表資格

- (1) 発表申し込み及び登壇する資格を有するのは本学会個人会員（学生会員を含む）に限ります。ただし、共同研究者として非会員をプログラム、要旨集、当日の投影資料、配付資料に記載することができます。
- (2) 非会員を共同研究者とした際は、プログラム、要旨集、当日の投影資料、配付資料に、必ず「非会員」であることを明記します。
- (3) 「個人会員（学生会員を含む）」とは、①発表申し込みの締切日以前に、締切日を含む年度までの会費を全納した者、あるいは、②発表申し込み締切日までに、入会手続きを取り、当該締切日を含む年度の会費を前納した者です。
- (4) 団体会員は、大会期間中 1 団体会員あたり 1 題に限って発表することができます。その際、当該団体会員は、登壇者を指名します（複数可。非会員可）。
- (5) 企画委員会は発表資格を満たしているか判断し、申し込み年度の 3 月末までに発表申込者に通知します。

2) 発表内容

- (1) 大学教育に関する未発表の研究で、単なる実践報告でなく、一定程度の成果の評価や結論が示されていることが求められます。

- (2) 最低限、大学教育学会誌における関連先行研究のレビューをふまえたものであることが求められます。
- (3) 共同研究の成果発表において、2つ以上の発表時間枠の利用を希望する場合は、発表題目の副題に内容を必ず明示すること。主題および副題に連番を付すことは認めません。
- (4) 発表題目は、研究の内容と目的を明示するものであり、申し込み・要旨集録・当日発表のいずれも同じでなければなりません。

3) 発表数の限定

個人会員（学生会員含む）および団体会員が登壇者に指名する個人（複数可。非会員可。）は、大会期間中1名1題に限り登壇者となることができます。ただし共同研究者として他の発表に名を連ねることはこの限りではありません。

4) 発表時間は、発表 15 分と質疑応答 5 分の計 20 分です。

5) 申し込みの題名と要旨を参考に、実行委員会が会場分けを行います。

6) 会場ごとに全発表の終了後に「総合討論」の時間を設けます。発表者は必ずご参加下さい。

7) 団体会員の資格で発表する場合は、団体名での発表になります。電子申請の際の発表申し込みの画面で必ず機関名をご記入下さい。

8) 発表エントリー後に理由不明なまま途中辞退を行った場合、今後発表を認めないことがあります。

8. 大会期間中の一時保育について

大学教育学会第35回大会では、下記の要領で大会期間中の一時保育を実施いたします。申し込み締め切りが4月15日（月）となりますのでご注意ください。詳細ならびに申込書は大会校ホームページに掲載します。

なお、申し込み人数によっては実施しないこともありますのであらかじめご了承ください。

日時：2013年6月1日（8:30～17:30）、6月2日（8:30～17:30）

場所：川内けやき保育園（東北大学川内北キャンパス内）

受入可能年齢：5ヶ月～小学校就学前

利用料金：1時間あたり 2,000 円程度を予定（受入人数により変動）

9. 委員会名簿

大会企画委員会

委員長	羽田 貴史（東北大学）	委員	猪股 歳之（東北大学）
委員	川島 啓二（国立教育政策研究所）		串本 剛（東北大学）
	杉原 真晃（山形大学）		今野 文子（東北大学）
	杉本 和弘（東北大学）		佐藤 万知（東北大学）
	関内 隆（東北大学）		立石 慎治（東北大学）
	関根 勉（東北大学）		中島 夏子（東北工業大学）

大会実行委員会

委員長	羽田 貴史（東北大学）	委員	佐藤 万知（東北大学）
副委員長	杉本 和弘（東北大学）		関根 勉（東北大学）
委員・事務局長	猪股 歳之（東北大学）		立石 慎治（東北大学）
委員・事務局次長	串本 剛（東北大学）		中島 夏子（東北工業大学）
委員	今野 文子（東北大学）	顧問	関内 隆（東北大学）

自由研究およびラウンドテーブルの申し込みについて

申し込みの要領

- 申し込み締め切り：2013年2月28日（木）
- 申し込み方法：学会ウェブサイトの「会員ページ」からお申し込みください。このページには同サイト（<http://www.daigakukyoiku-gakkai.org/>）の「会員ページログイン」部分からお入り下さい。（下記の申し込み手順を参照。）
- 発表申込以後の発表タイトルの変更はできませんのでご注意ください。

申し込み手順

- 1) 会員ページ入口でIDとパスワードを入力し、ログイン後、「大会発表の応募」に進みます。
※パスワードをお忘れになった方は、学会事務局（メールアドレス：ungakkai@gmail.com）にお問い合わせ下さい。
- 2) 「大会発表の応募」にログインすると、申込者の会員番号、氏名、氏名フリガナ、メールアドレスが表示されますのでご確認ください。
- 3) 「発表の種別」で、「自由研究」または「ラウンドテーブル」を選択して下さい。
- 4) 「自由研究」「ラウンドテーブル」とともに、登録内容は以下の通りです。
 - ・発表題目をご記入下さい。
 - ・発表内容の概要は日本語で300字程度、または英字（半角）120語程度でご記入下さい。
 - ・「自由研究」については「大会発表の応募」の「カテゴリー」の選択ボックスから1つだけ選択して下さい。
- 5) 「自由研究」「ラウンドテーブル」とともに発表の可否が決定されますと、「可否通知メール」が申込者宛に送信されます。
- 6) 発表許可された場合は、会員ページの「お知らせ」欄に表示される要旨原稿の提出案内に従い、原稿を4月10日（水）までにアップロードして下さい。
- 7) ラウンドテーブルの企画者は発表者の氏名、氏名フリガナ、所属についても要旨集録原稿に掲載して下さい。
- 8) ラウンドテーブル・自由研究いずれも申し込んだ発表題目は変更できません。

郵送の際の宛先および発表申込みに関してのお問合せ先は、下記のとおりです。

第35回大会に関するお問い合わせ

〒980-8576 仙台市青葉区川内41
東北大学 高等教育開発推進センター 気付
大学教育学会第35回大会企画実行委員会

e-mail: 後ほど、本学会のウェブサイト上にてお知らせします。

※メールの件名には、「自由研究」「ラウンドテーブル」または「大会発表に関する問い合わせ」とご記入下さい。

お願い(重要)

会費納入状況に基づく発表および企画の資格を確認するため、会員番号の記載を義務付けております。学会名簿をご参照のうえ、ご記載願います。

なお会員番号が不明な場合は、学会事務局 Tel:(042)704-7014 / E-mail:ungakkai@gmail.com までお問い合わせ下さい。（開室時間：月・水・金曜日 9:00～17:00）

大会への参加申し込みについて

「会員ページ」からのお申し込み

3月上旬より、本学会ウェブサイトの「最新情報欄」に「大学教育学会第35回大会のご案内」が掲載される予定です。同記事より、「大学教育学会第35回大会（東北大学）開催校ウェブページ」へアクセスができます。同フォームの指示にしたがってお申し込み下さい。

大学教育学会 URL <http://www.daigakukyoiku-gakkai.org/>

=事務局から=

● 会費納入のお願い

今年度(2012年度)の会費が未納の会員及び過年度の会費・会誌代が未納の会員は、できるだけ早くご入金ください。領収書につきましては、郵便払込票の受領書をもって替えさせていただきます。

年会費等郵便振替口座 00120-4-178891 「大学教育学会」

ご入金は郵便払込票をご利用ください。やむを得ず、銀行からご入金を希望される場合は、入金前に必ず、以下の大学教育学会 学会業務取扱センターまでその旨ご連絡下さい。

<「入退会・会員登録情報変更・会費納入状況」の問い合わせ先>

大学教育学会 学会業務取扱センター

〒170-0004 東京都豊島区北大塚3-21-10アーバン大塚3F (株)ガリレオ内

TEL:03-5907-3750 FAX:03-5907-6364

E-mail:g022lges-mng@ml.gakkai.ne.jp

なお、入金状況については、学会ウェブサイトの会員ページにあります「会員情報の照会・更新」からご自身で確認可能です。

● 団体会員、会誌配布団体の会員番号(ID)について【ご注意】

すでにご案内しております通り、団体会員、会誌配布団体の会員番号を2012年4月より変更しております。これらの会員の皆様にはご不便をおかけいたしますが、なにとぞご理解賜りますようお願い申し上げます。

<会員番号>

以前の会員番号、千の位の数字と百の位の数字の間に「0(ゼロ)」を入れた5ケタの番号です。

例：団体会員：(旧)3111→(現)30111

会誌配布団体：(旧)5011→(現)50011

● 大学教育学会第35回(2013年度)大会参加費・懇親会費等の払込について

次号のニューズレター(NL93号、4月上旬発行予定)にて参加費・懇親会費等の払込について詳細をご案内いたします。また、払込取扱票についても同封いたします。

● 2013年度課題研究集会について

2013年度課題研究集会は、11月30日(土)、12月1日(日) 同志社大学今出川キャンパスを中心に開催予定です。

● 住所変更の届出についてのお願い

定期刊行物は、宅配業者のメール便を利用しているため、転居にともなう転送はされず数週間後、事務局へ返送されてまいります。そのため、会員の方のお手元へのお届けが非常に遅くなります故、変更が生じた場合、迅速に会員登録情報の変更申請をウェブサイト上の会員ページよりお願い申し上げます。



【学会事務局】

〒252-0206 神奈川県相模原市中央区淵野辺 4-16-1
桜美林大学 淵野辺キャンパス 3階
Tel/ Fax: 042-704-7014
E-mail: ungakkai@gmail.com
URL: <http://www.daigakukyoiu-gakkai.org/>

【入退会・会員登録情報変更・会費納入状況についてのお問い合わせ先】

大学教育学会 学会業務取扱センター
〒170-0004 東京都豊島区北大塚3-21-10アーバン大塚3F (株)ガリレオ内
TEL:03-5907-3750 / FAX:03-5907-6364
E-mail: g022lges-mng@ml.gakkai.ne.jp